

## 第2章 校内環境の観点から

### DATA2-① 専科教員の配置について (小学校算数)

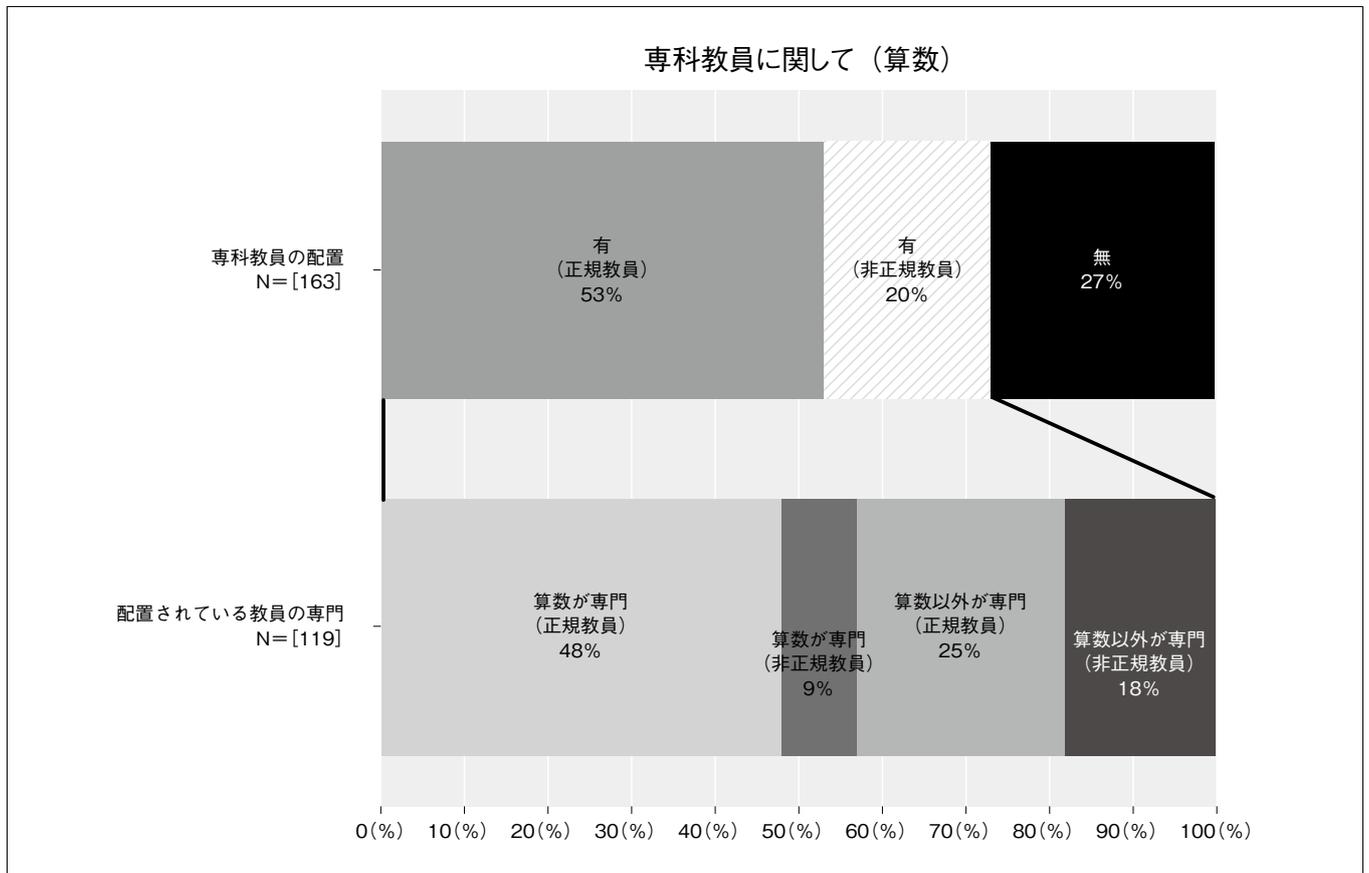
小学校における算数の専科教員の配置について、正規教員による配置の割合が53%、非正規教員による配置の割合が20%で、配置有が合わせて73%であった。配置されている場合、算数が専門の正規教員が48%、算数が専門の非正規教員が9%で、それら2つを合わせて57%であった。一方、算数以外が専門の正規教員が25%、算数以外が専門の非正規教員が18%で、それら2つを合わせて43%であった。

算数の専科教員の配置は7割を超えているが、配置されている場合でも、算数以外が専門の教員が4割強である実態がみられた。

※ここでいう「専科教員」とは、その教科を担当する正規・非正規教員を示します。

Q (小学校のみ) 専科教員は配置されていますか。(C-1)

Q (小学校のみ) 専科教員が配置されている場合、その方は当該教科の専門の先生ですか。(C-2)



## DATA2-② 専科教員の配置について (小学校理科)

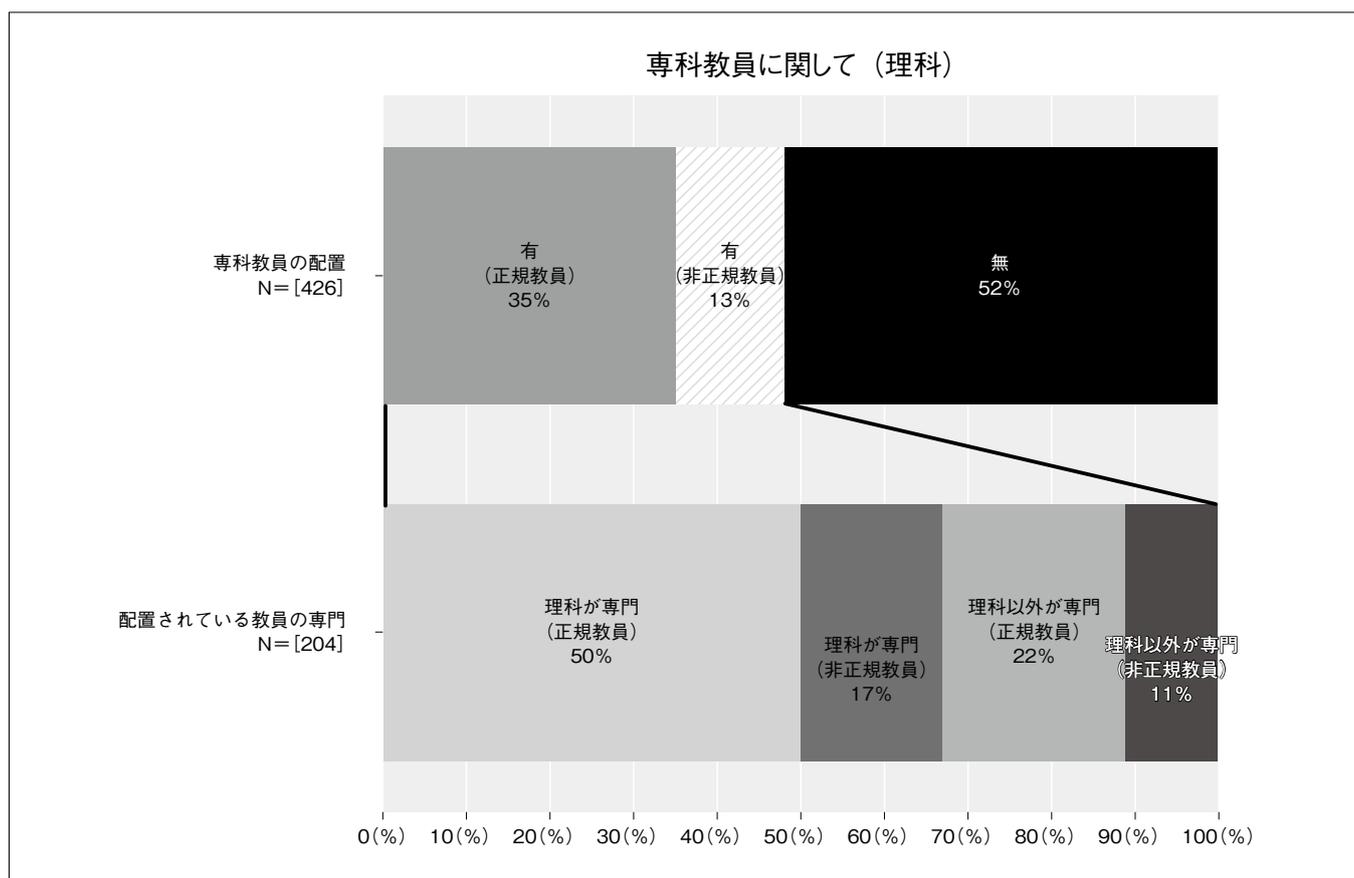
小学校における理科の専科教員の配置について、正規教員による配置の割合が35%、非正規教員による配置の割合が13%で、配置有が合わせて48%であった。配置されている場合、理科が専門の正規教員が50%、理科が専門の非正規教員が17%で、それら2つを合わせて67%であった。一方、理科以外が専門の正規教員が22%、理科以外が専門の非正規教員が11%で、それら2つを合わせて33%であった。

理科の専科教員の配置は5割程度であり、配置されている場合でも、理科以外が専門の教員が3割強である実態がみられた。

※ここでいう「専科教員」とは、その教科を担当する正規・非正規教員を示します。

Q (小学校のみ) 専科教員は配置されていますか。(C-1)

Q (小学校のみ) 専科教員が配置されている場合、その方は当該教科の専門の先生ですか。(C-2)



## DATA2-③ 専科教員の配置について (小学校外国語)

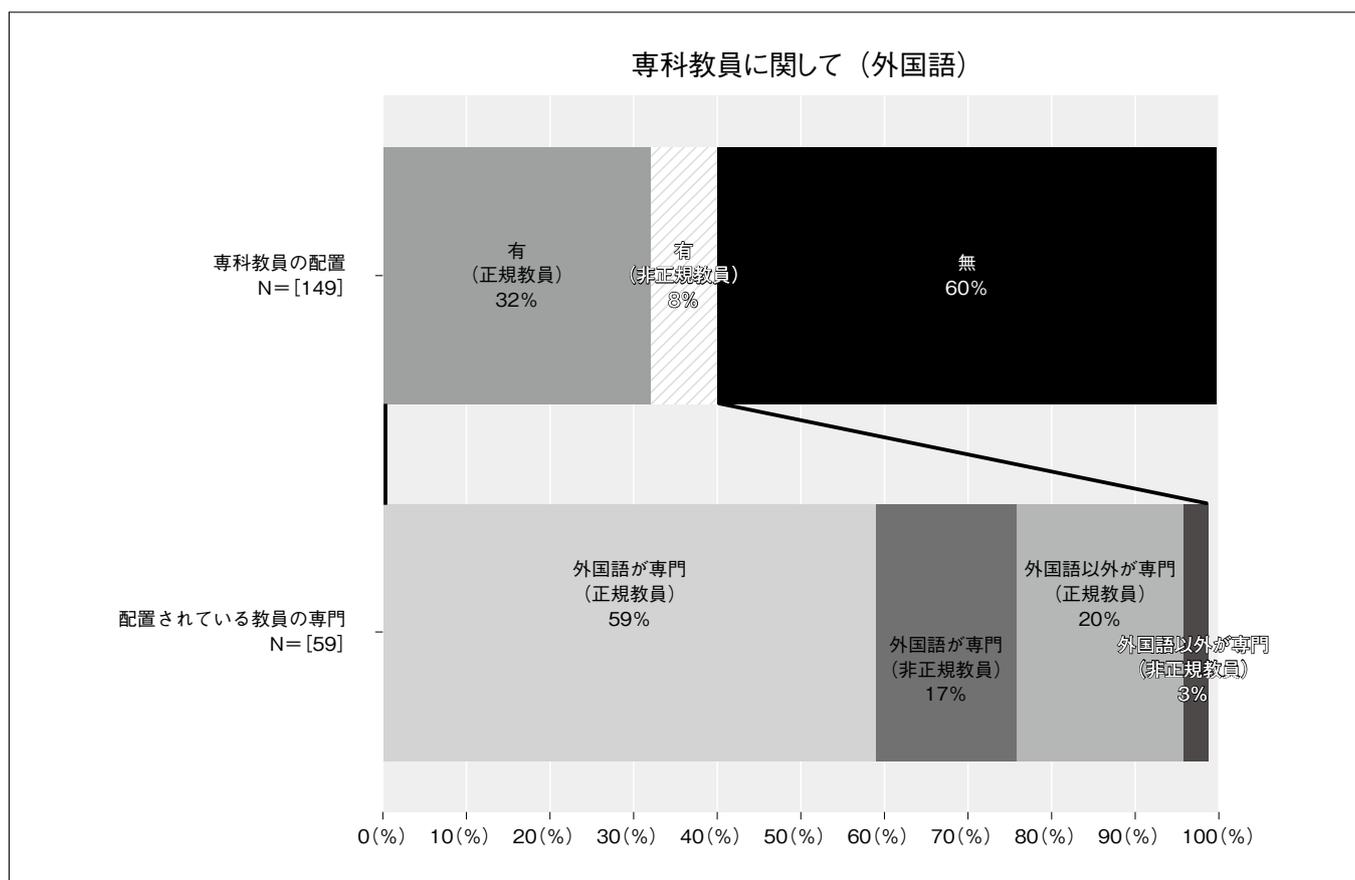
小学校における外国語の専科教員の配置について、正規教員による配置の割合が32%、非正規教員による配置の割合が8%で、配置有が合わせて40%であった。配置されている場合、外国語が専門の正規教員が59%、外国語が専門の非正規教員が17%で、それら2つを合わせて76%であった。一方、外国語以外が専門の正規教員が20%、外国語以外が専門の非正規教員が3%で、それら2つを合わせて23%であった。

外国語の専科教員の配置は4割程度であり、配置されている場合でも、外国語以外が専門の教員が2割強である実態がみられた。

※ここでいう「専科教員」とは、その教科を担当する正規・非正規教員を示します。

Q (小学校のみ) 専科教員は配置されていますか。(C-1)

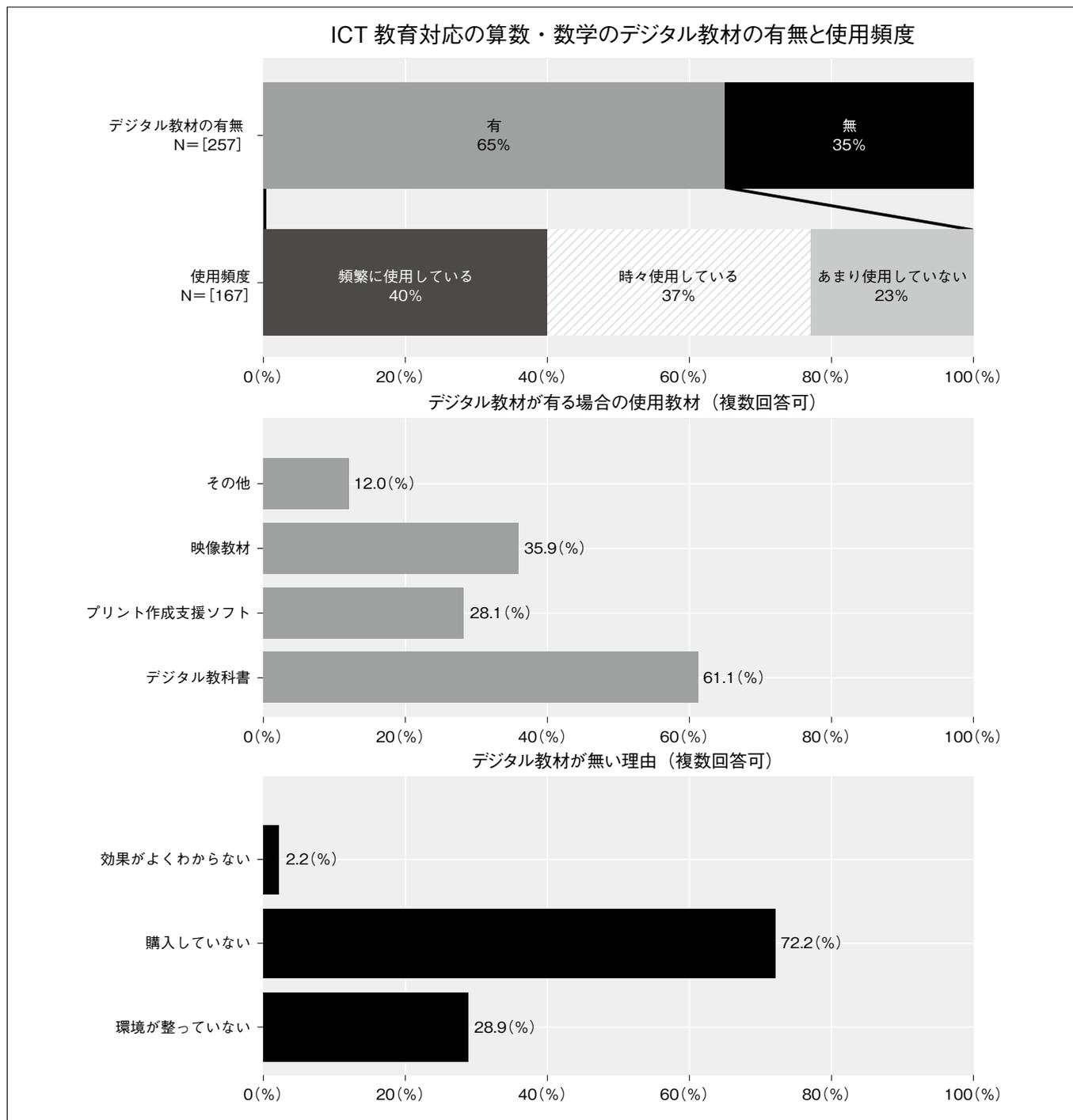
Q (小学校のみ) 専科教員が配置されている場合、その方は当該教科の専門の先生ですか。(C-2)



## DATA2-④ ICT教育対応のデジタル教材について (算数・数学)

算数・数学のICT教育について、デジタル教材が有る割合が65%、デジタル教材が無い割合が35%であった。デジタル教材が有る場合、使用頻度として、「頻繁に使用している」が40%、「時々使用している」が37%で、それら2つを合わせて77%であった。また、デジタル教材が有ると答えた回答のうち、使用教材は、「デジタル教科書」が61.1%、「映像教材」が35.9%、「プリント作成支援ソフト」が28.1%であった。一方、デジタル教材が無い理由について、「購入していない」が72.2%、「環境が整っていない」が28.9%であった。

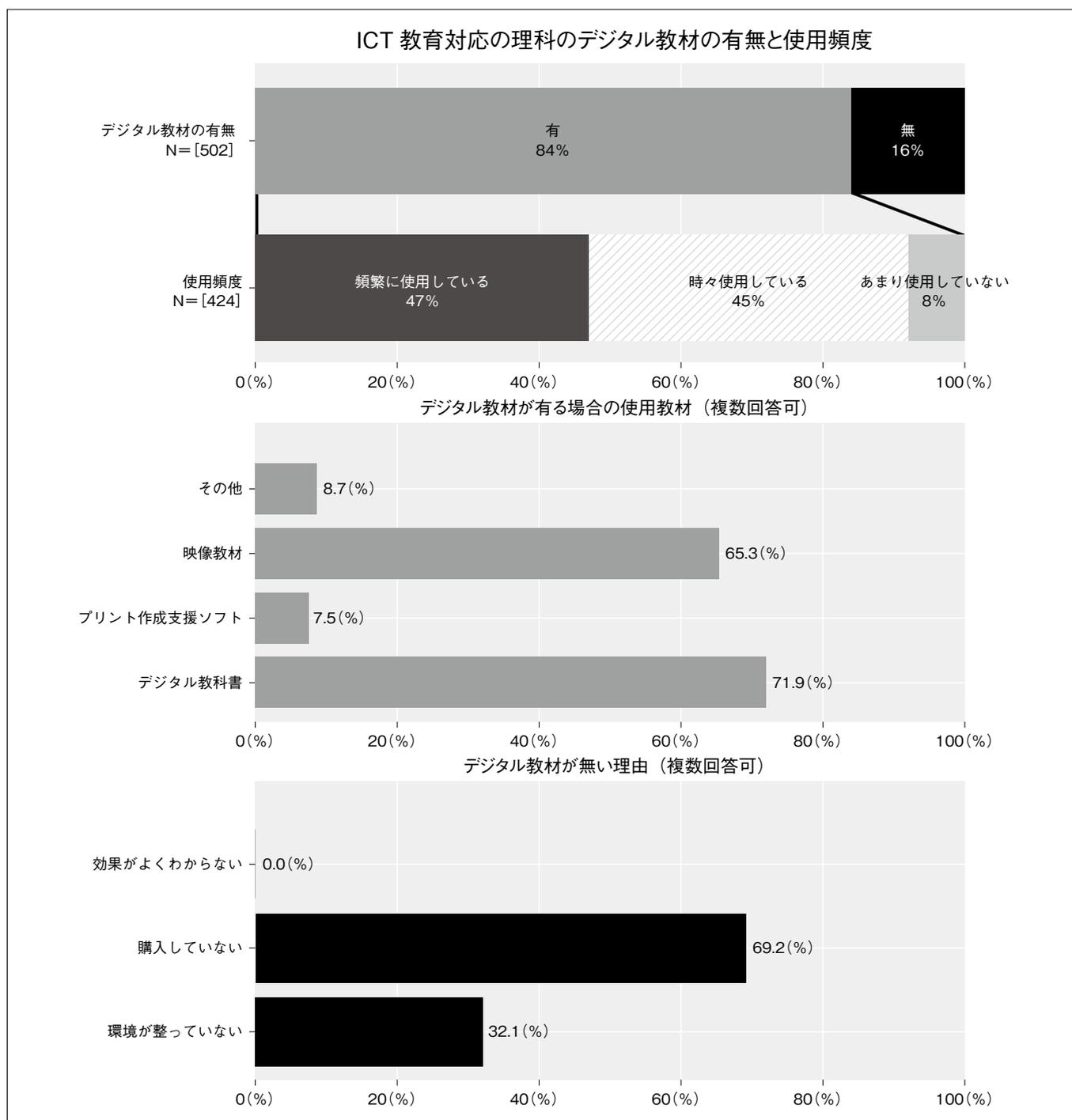
### Q ICT教育対応の当該教科のデジタル教材はありますか。(C-7)



## DATA2-⑤ ICT教育対応のデジタル教材について (理科)

理科のICT教育について、デジタル教材が有る割合が84%、デジタル教材が無い割合が16%であった。デジタル教材が有る場合、使用頻度として、「頻繁に使用している」が47%、「時々使用している」が45%で、それら2つを合わせて92%であった。また、デジタル教材が有ると答えた回答のうち、使用教材は「デジタル教科書」が71.9%、「映像教材」が65.3%、「プリント作成支援ソフト」が7.5%であった。一方、デジタル教材が無い理由について、「購入していない」が69.2%、「環境が整っていない」が32.1%であった。

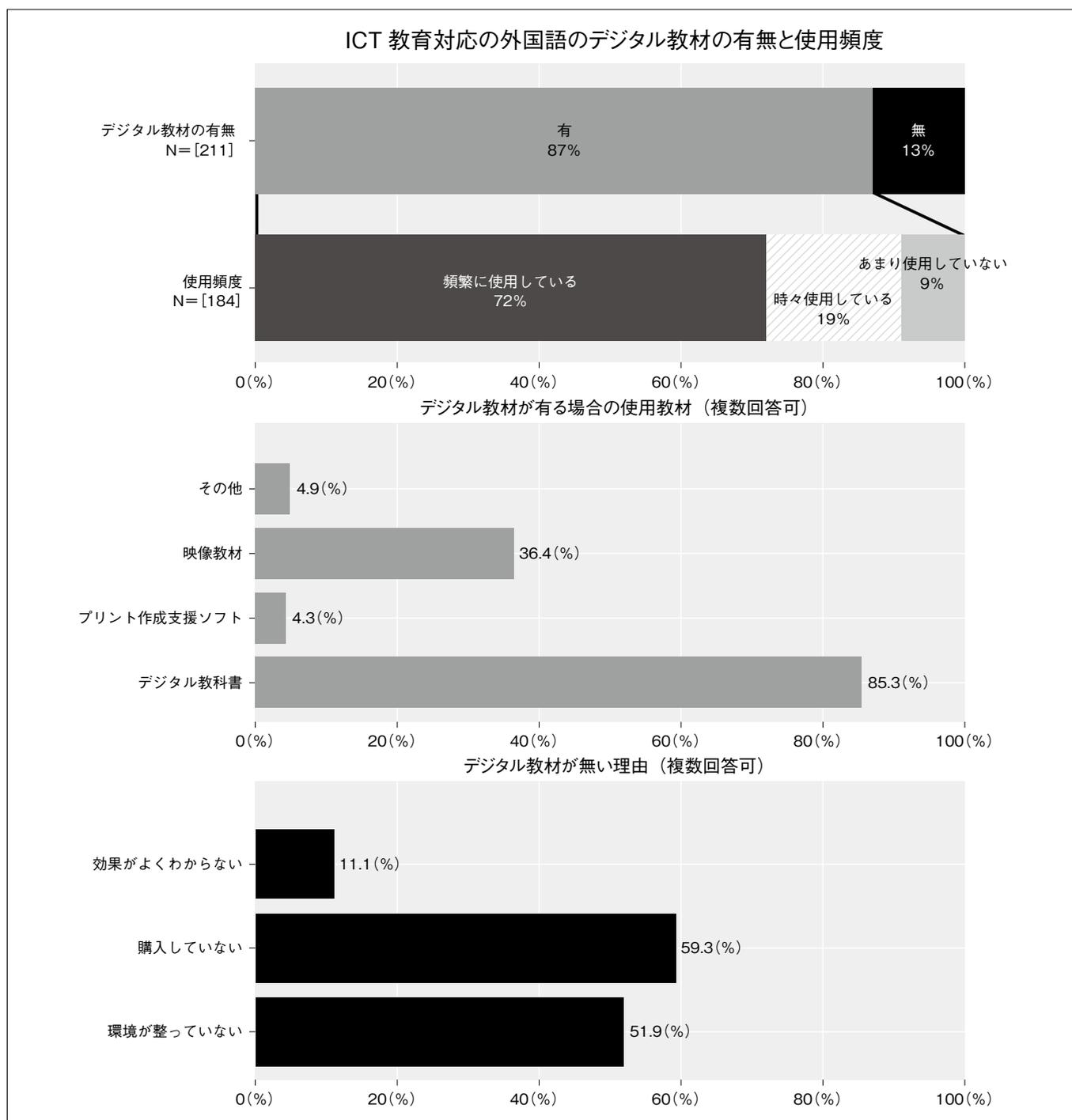
### Q ICT教育対応の当該教科のデジタル教材はありますか。(C-7)



## DATA2-⑥ ICT教育対応のデジタル教材について (外国語)

外国語のICT教育について、デジタル教材が有る割合が87%、デジタル教材が無い割合が13%であった。デジタル教材が有る場合、使用頻度として、「頻繁に使用している」が72%、「時々使用している」が19%で、それら2つを合わせて91%であった。また、デジタル教材が有ると答えた回答のうち、使用教材は「デジタル教科書」が85.3%、「映像教材」が36.4%、「プリント作成支援ソフト」が4.3%であった。一方、デジタル教材が無い理由について、「購入していない」が59.3%、「環境が整っていない」が51.9%であった。

### Q ICT教育対応の当該教科のデジタル教材はありますか。(C-7)



## DATA2-⑦ ユニバーサルデザインの取り組みについて

よりわかりやすい授業を目指した工夫について、「できている」と「概ねできている」を合わせた割合が大きかった観点は、「落ち着いて過ごせる教室」、「全員が同じ課題に取り組める授業」がともに80%、「学んだことがしっかり定着する教材提示」が62%であった。一方、「できている」と「概ねできている」を合わせた割合が小さかった観点は、「校内での先生方の連携」が45%であった。

ユニバーサルデザインの取り組みとして、校内の先生方で、必要に応じて、黒板やノートの使い方、教員の指導スタイルの統一などを工夫することが考えられる。

Q よりわかりやすい授業を目指した工夫について、以下の観点についてお答えください。(C-9)

